



# もりまち 議会だよい

平成27年(2015年)11月

第65号



写真／「のれたよ！」～ときわ保育園～

## 《主な内容》

町の支出80億円を超える

2~3

迅速な災害対策

4~5

病院の経営改革/個人番号カードの利用

6

一般質問 三倉・天方地区の農業振興 他

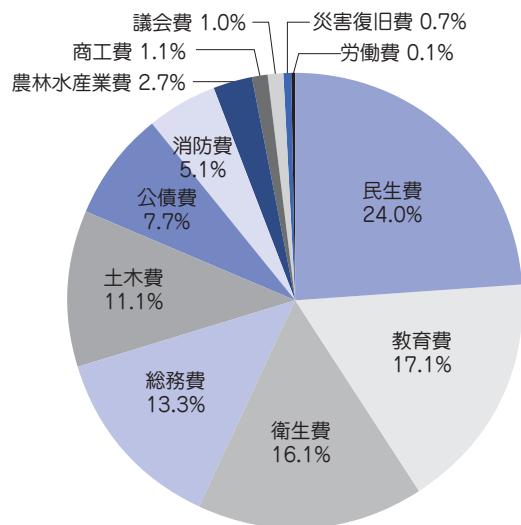
7~9

他町の議会に学ぶ

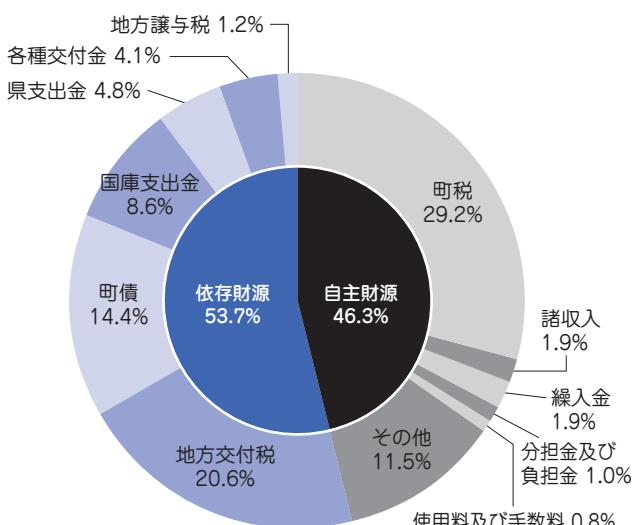
9

# を超える!

〈歳出〉80億1,335万3千円（前年比8.8%増）



〈歳入〉89億8,309万2千円（前年比8.9%増）



## 〈財政調整基金残高・地方債残高の推移〉

(万円未満四捨五入)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
財政調整基金残高	17億7,363万円	18億7,627万円	19億7,820万円	21億8,487万円	20億9,386万円
地 方 債 残 高	58億9,822万円	59億4,050万円	61億9,066万円	64億5,325万円	72億1,142万円

26年度末地方債残高のなかには、元金と利子が国から全額交付税措置される臨時財政対策債（37億7,705万円）も含まれています。

臨時財政対策債を除いた町の借金は、34億3,437万円となります。

（いすれも万円未満四捨五入）

地方債の現在高は、前年度に比べ、7億5,816万円増の72億1,142万円となりました。

財政調整基金は、前年度に比べ、9億1,011万円減の20億9,386万円となりました。

予算に対する執行率は97.0%でした。

27年度に繰り越した事業を除く歳出財源の増加により、前年度より1.7%の減となる46.3%でした。

森町議会は、9月定例会を7日から25日までの会期19日間で開催しました。平成26年度決算認定、平成27年度補正予算、条例改正、人事など、提案された20議案と議員発議による議会規則の改正について審議しました。また、三倉・天方地区の農業振興、期日前投票所の増設、子ども議会の開催、ナラ枯れ対策と町有林材の有効活用、マイナンバー制度のリスクと対応等について、5人が一般質問をしました。

(7P~9Pに掲載)

平成26年度は、国により「まち・ひと・しごと創生総合戦略」がとりまとめられ、地方創生への取組が動き出了しました。森町でも、「ええら森町」実現のため、次世代につながる成長の礎づくり、防災対策、医療・福祉の実現等、各種事業に取り組みました。

また、2月の臨時会で可決した地方創生先行型関連事業として、観光振興事業、少子化対策事業を実施しました。

一般会計の総額は歳入89億8,309万円、歳出80億1,335万円で、前年度と比較して歳入8.9%、歳出8.8%のプラスとなりました。増加要因としては、総合体育館建設、拠点防災倉庫整備等が挙げられます。

歳入における自主財源の割合は、地方消費税交付金、地方交付税等の依存財源の増加により、前年度より1.7%の減となる46.3%でした。

# 平成26年度決算を認定

(一般会計)

町の支出、15年ぶり

80億円

〈決算の推移〉

(円未満四捨五入)

会計名		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
一般会計	歳入	79億4,034万円	77億5,116万円	80億 789万円	82億4,909万円	89億8,309万円
	歳出	71億5,505万円	67億9,597万円	70億3,389万円	73億6,319万円	80億1,335万円
国民健康保険	歳入	20億4,097万円	20億5,598万円	21億1,180万円	21億2,599万円	20億8,977万円
	歳出	19億5,286万円	19億6,440万円	19億6,285万円	19億7,682万円	20億1,223万円
老人保健	歳入	104万円	—	—	—	—
	歳出	104万円	—	—	—	—
後期高齢者	歳入	1億6,962万円	1億7,145万円	1億8,321万円	1億8,578万円	1億8,921万円
	歳出	1億6,912万円	1億6,912万円	1億8,032万円	1億8,569万円	1億8,881万円
介護保険	歳入	15億7,461万円	16億4,298万円	17億5,239万円	18億3,849万円	20億 643万円
	歳出	15億7,367万円	16億3,251万円	17億3,864万円	17億9,828万円	19億 890万円
公共下水道事業	歳入	5億3,812万円	3億7,252万円	4億9,600万円	5億8,537万円	6億6,883万円
	歳出	5億 544万円	3億5,097万円	4億5,400万円	5億3,464万円	6億 495万円
簡易水道事業 (大久保・三倉・大河内)	歳入	630万円	473万円	455万円	445万円	427万円
	歳出	476万円	338万円	333万円	336万円	333万円
水道事業	収益的収支	歳入	2億5,475万円	2億5,349万円	2億6,132万円	3億 259万円
	資本的収支	歳入	2億5,282万円	2億5,780万円	2億6,819万円	3億1,023万円
企業会計	収益的収支	歳入	1億 948万円	1億1,452万円	1億3,414万円	1億 709万円
	資本的収支	歳入	1億7,300万円	1億9,044万円	2億 840万円	2億2,700万円
病院事業	収益的収支	歳入	26億 400万円	27億1,693万円	28億1,533万円	28億8,061万円
	資本的収支	歳入	26億7,501万円	28億 348万円	28億3,156万円	29億 835万円
	資本的収支	歳入	2億4,676万円	5億9,451万円	2億4,863万円	4億2,945万円
	資本的収支	歳出	3億1,675万円	6億6,560万円	3億4,225万円	5億2,247万円
合 計		歳入	154億8,599万円	156億7,827万円	160億1,526万円	167億 891万円
		歳出	147億7,952万円	148億3,367万円	150億2,343万円	158億1,360万円
						168億5,938万円

病院事業会計	賛成討論	反対討論	水道事業会計	特別会計 (国民健康保険)	賛成討論	反対討論	一般会計
第3次改革プラン等、森町病院の特性を活かした取組が見られる。	積極的な漏水対策を行い、有収水量を高め、安定した水の供給を行っている。	総配水量は減少。遠州水道の計画契約を関係市町と粘り強く交渉すべきである。	加入者の負担軽減や安定運営、高い収納率を評価する。 (山本議員)	ある。 (西田議員)	限られた財源を町民の福祉、安心安全の確保等適正に配分した良好な決算である。 (太田議員)	限られた予算が重点的・効果的に使われておらず、町民の福祉向上・要望実現に活かされていない。(西田議員)	討論
(山本議員)	(片岡議員)						

# 安全な道路整備

## 補正予算

一般会計など、3会計の補正予算を審議しました。

一般会計は、歳入歳出にそれぞれ3億1577万5千円を追加し、27年度予算は77億9506万9千円となりました。(一般会計補正予算第4号含む)主な内容をお知らせします。

**一般会計補正予算(第3号)**  
マイナンバー制度の導入および個人番号カード交付に関する費用等として計1483万7千円。

インフルエンザワクチンの価格引上げに対応する費用として425万4千円。

道路の緊急性を要する維持管理及び舗装補修等の費用として1400万円。

早急な対応が必要となる町道の改築・舗装改良工事、測量設計等にかかる負担金として7994万9千円。

木造住宅の耐震補強等に対する助成事業への補助金の追加分として457万6千円。

遠州森町スマートIC周辺に、森市街への誘導のための案内看板設置費用として1368万7千円。

町営住宅大門団地の外壁修繕工事に686万8千円。

県の緊急地震・津波対策交付金を緊急地震対策基金に3959万9千円積立。

拠点防災倉庫内の保管棚及び防災資機材の購入費用として3042万3千円。

天方小学校体育館の耐震補強設計等の経費として632万3千円。

今年7月の豪雨により被災した町道の災害復旧費として1055万円。

### 【反対討論】

マイナンバー法に対応した歳出・歳入は認められない。  
(西田議員)

### 【賛成討論】

住民生活に必要な予算であり、同時に地域住民の要望に応えるものである。  
(中根議員)

防災・減災の取組強化、生活道路の安全確保を図っている。  
(伊藤議員)

福祉・医療・教育・安全にかかる必要な事業予算が計上されている。  
(太田議員)

## 条例

### 森町個人情報の保護に関する条例

#### 【一部改正】

いわゆる「マイナンバー法」の施行に伴い、町が保有することになる「特定個人情報」の取り扱い等について改正を行いました。(西田議員による反対討論・太田議員による賛成討論あり)

#### 森町手数料条例

#### 【一部改正】

「マイナンバー法」の施行に伴い「通知カード」や「個人番号カード」の再発行時の手数料等の改正を行いました。



向天方中央線 改築工事

# 迅速な災害対策と

一般会計補正予算（第4号）  
9月の豪雨及び台風により発生した  
災害に対応するための経費として計  
1331万6千円。

## 補正予算（追加議案）

「議員が出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。」

森町議会会議規則【一部改正】  
議会における欠席の届け出について、以下の規定を追加しました。

## 議員発議

教育委員会委員  
鈴木眞子氏の再任に同意しました。

人権擁護委員  
森曉美氏の再任に同意しました。

森町固定資産評価審査委員会委員  
安西功氏の再任に同意しました。

森町病院の新会計制度導入に伴う償却制度の見直しにより、資本剰余金の処分を行いました。

## 一般議案

## 人事

## 9月定例会の審議結果

	議案名	結果	備考		議案名	結果	備考
人事	森町固定資産評価審査委員会委員の選任	同 意	全員賛成	決算認定	平成26年度森町一般会計歳入歳出決算認定	認 定	反対 西田議員
	人権擁護委員候補者の推薦	推 薦	全員賛成		平成26年度森町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認 定	全員賛成
	森町教育委員会委員の任命	同 意	全員賛成		平成26年度森町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認 定	全員賛成
条例	森町個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	反対 西田 鈴木議員	認定	平成26年度森町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認 定	全員賛成
	森町手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	反対 西田議員		平成26年度森町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定	全員賛成
	平成27年度森町一般会計補正予算（第3号）	原案可決	反対 西田 鈴木議員		平成26年度森町大久保簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定	全員賛成
補正予算	平成27年度森町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全員賛成	認定	平成26年度森町三倉簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定	全員賛成
	平成27年度森町病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決	全員賛成		平成26年度森町大河内簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定	全員賛成
	平成27年度森町一般会計補正予算（第4号）	原案可決	全員賛成		平成26年度森町水道事業会計決算認定	認 定	反対 西田議員
一般	平成26年度森町病院事業会計資本剰余金の処分	原案可決	全員賛成	発議	平成26年度森町病院事業会計決算認定	認 定	全員賛成
					森町議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	全員賛成

# 委員会報告

第一・第二常任委員会は、本会議で付託された補正予算などの議案についての11月15日  
に審査を行いました。

審査の中での主な質疑についてお知らせします。

## 第一常任委員会

Q 他市町と比較して介護認定者数の割合は。

Q 社会保障・税番号制度システムのセキュリティ対策は。

A インターネットにつながる回線を対象に、標的型サイバー攻撃の検知装置という形で、ネットワークの監視装置とメールの監視装置を今までのセキュリティに加えて導入する。

Q 森町病院は専門的な医師の確保や民営化等抜本的な経営改革が必要ではないか。

A 現在の地域医療連携では、病院の規模で概ね役割が決まってくる。病床数や設備の面からも、3次医療を担うことは不可能と考える。

また、指定管理等民営化の先進事例を見ても、医療サービスの低下や繰り金の増加事例も多くある。  
今後も中東遠における森町病院の役割を認識し、応援をしていただきたい。



天方小 体育館耐震補強箇所の視察

## 第一常任委員会

Q PA周辺案内看板及びスマートインター周辺道路案内標識は、どのようにどのような内容で設置するのか。

A 65歳以上の介護認定率は18%程度で県下で2番目に多いが、65歳から74歳までの前期高齢者の介護認定率は県下で2番目に少ない。  
予防段階での認定率の低さが、お達者度を引き上げる大きな要因となっていると考える。

A PA周辺では、広域農道に誘導看板、下り線については、料金所手前に補助的な誘導看板、料金所から出て森市街方向等を示す看板の計6基の設置を考えている。  
また、森市街への誘導として、ピップ急送の所とJAライスセンター手前の所の2箇所に大型看板をつける。

Q 7月の豪雨による大上宮奥線の災害復旧工事の工期は。

A 工期は10月末から2月初め頃までだが、観光施設等も近隣にあるので、できる限り年内に終われるよう工程管理を行う。



大雨により崩れた大上宮奥線（橋地内）

Q 個人番号カードを紛失した場合の対策は。

A コールセンターに電話をかけることで、紛失カードは使えなくなる。



中山間地の耕作放棄地（天方、閑詰）



中根 幸男

## 三倉・天方地区の農業振興策は

### 農業振興策は

**問** 中山間地域である三倉・天方地区は、地形的な条件から機械化が進まず、担い手不足に加え、基幹作物であるお茶の価格が低迷し、耕作放棄地が年々拡大している。

**①耕作放棄地の面積とその対策は。**  
②三倉・天方地区的農業振興をどのように考へていらるか。  
③農家として認められる経営面積の下限を、現在の40haから20haに引き下げる必要があると思つがどうか。

**町長** 三倉、天方地区の耕作放棄地の面積は46ha、うち再生利用可能なものが25ha、不可能と思われるものが21haとなつていて。再生可能な農地は、地域の担い手に農地の集積や集約化を推進する事が重要である。

再生不可能な農地の多くは、急傾斜な茶園で生産性が低いことから、将来的には植林等の方策も視野に考へている。

農業振興については、昔から香り高い良質なお茶の産地であり、今後も良質茶の生産を主軸に考へている。一方、付加価値の高い栗やこんにゃくの栽培などの取組も見られ、町としても収益性の高い作物への転換を支援したい。

農家資格の下限面積20haへの引き下げは、農地法施行規則の基準では難しい。農業経営等多方面から検討しているので、農業委員会としての考え方を聞く必要がある。

### 校庭遊具の管理は

**問** 校庭の遊具は体力の向上が期待でき、安心して遊べる施設だが、さびや破損が心配なものもある。遊具の安全管理・補修・整備について伺う。また、点検マニュアルはどうなつてているか。



さびの浮いた遊具（森小学校）



小沢 一男

## 期日前投票所の増設を

**問** 改正選挙法が成立し、選挙年齢が18歳以上に引き下げられる。選挙権引き下げを契機に、利便性向上を図るため期日前投票所の増設ができるいか伺う。

**選管委員長** 森町は町民生活センターが場所的にもよく、期日前投票率は県内4位と非常に高い。

増設場所として、たとえばショッピングセンターを想定すると、選挙人名簿照合のオンライン化や投票の秘密の保持などの問題が考えられる。

投票立会人など町民の方の負担も増え、増設は厳しい。

**教育長** 遊具や体育設備の点検は、毎月各校が定期的に行っている。加えて、毎年1回専門業者に委託し、点検等を実施している。

マニュアルは、県教育委員会が発行する「学校安全推進の手引き」の手法に基づいている。

### その他の質問

ドメスティック・バイオレンス（家庭内暴力等）の対策について



不審者からの逃げ方を学ぶ児童ら（宮園小）

**問** 子どもたちの自立性や社会性をはぐくむことを目的に「子ども議会」を開催している自治体が増えている。行政・議会の役割を学ぶ良い機会であり、町政を身近に感じ、森町民としての自覚と郷土を愛する心が育成される。開催の考え方を伺う。



伊藤和子

## 子どもたちの声を 「子ども議会」へ

**教育長** 森町では各種のボランティア活動参加も多く、郷土愛や地域の課題をつかんでいる。また、授業で防犯ブザーの支給で新入学児童の安全を守る

**問** 新入学児童は防犯に対して危機管理意識が未熟であり、防犯・安全意識を高める教育が必要である。子どもの見守り体制の強化として、児童の上下校中の安全確保を図る目的で防犯ブザーの支給を提案するが、考え方を伺う。

**教育長** 防犯ブザーは、「地域の目」の役割を果たす。今後、新入学児童防犯ブザーを提供し、通学時などの安全確保を図り、子育て支援のひとつにしていく。  
また、防犯意識を啓もうする教育につなげていきたい。

町の将来を考える取組もある。「これらを踏まえ、「子ども議会」開催については学校とも協議し、場所にとらわれず意義や効果について研究・検討していきたい。

町の将来を考える取組もある。

「これらを踏まえ、「子ども議会」開催については学校とも協議し、場

所にとらわれず意義や効果について研究・検討していきたい。

**問** 平成22年12月議会のナラ枯れ対策の質問から5年弱が経過した。今年はナラ枯れが広範囲に拡大しているが、県や町はどのような調査や対策をしてきたのか、また、今後の方向性について伺う。



鈴木 托治

## ナラ枯れ被害の対策は

**町長** 被害が一時終息したため、特別な対策はとってこなかつたが、今年の夏頃から再び増加傾向にあると確認している。  
県の方針に基づき、町・民有林に関わらず被害調査を進めるとともに、被害状況を広報等で啓発している。  
今後、生産林と雑木林を共存させ、山全体が良い環境になるよう努力したい。

**町有林の有効利用は**

**問** 町は広い面積の町有林を所有しているが、今後この成木となつている杉・ヒノキをどのように利用する計画か伺う。

**町長** 町が管理する町有林の70%を分収林が占めており、伐採・搬出・販売という点ではコスト的に厳しい面がある。  
町有林の木材を提供して町の人口増につなげることも良いアイデアでははあるが、現実的な選択としては今は考えていらない。

間伐等の管理を実施しながら洪水・浸水対策を優先して、良質な水をはぐくむ「水源涵養機能」や「国土保全機能」等の公益的機能を優先していきたい。

**※分収林** 造林者または育林者と土地所有者が異なり、両者が造育林による収益を分け合う契約をした山林のこと。



西田彰

# マイナンバー制度の

## リスクと対応は

問　社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）について4点伺う。

①町民の利便性が高まり、公平・公正な社会実現にあるが本当か。

②システム構築等でどれだけの税金が使われるか、また、職員にかかる業務負担は。

③情報流出で悪用されたとき、どのような対策をとり、誰が責任を取るのか。

④システム構築の準備不足や不安があるが、延期は許されないのである。

かかる費用については、システム改修費、カード発行手続等として約8500万円の事業費を見込んでいる。町の負担としては約2800万円を見込んでいるが、その一部についても交付税措置が予定されている。

また、今後のランニングコストについては、交付税措置で担保されるのではないかと思っている。

職員の業務負担は制度導入時には大きくなると思われるが、導入後は

情報の保持については、「行政機

**町長** 社会保障等複数の機関に存在する個人情報が、マイナンバーにより同一人の情報であると確認するために活用される。

市民にとっては行政機関への申請において、添付書類の削減など、行政手続の簡素化が図られる。

政三線の簡素化が図られる  
また、負担や給付を不当に免れる  
ことを防止することで、本当に困つ  
ている方にきめ細かな支援を行うな  
ど、公平公正な社会の実現を期待し  
ている。

森町では、保護すべき事務が14事務あるので、10月末をめどに保護評価の作成を行っている。

## 第2回 3町議会議員研修会

## 他町の議会に学ぶ

8月20日、森町、吉田町、川根本町の3町で合同研修会を行いました。

二つの分科会に分かれて研修を行い、「議会運営」「委員会」「一般質問」「広報、議会報告会」というテーマのもと、議論を行いました。

また、他町の先進的な取組を把握することができ、大変有意義な研修となりました。



## 第2回議会報告会開催のお知らせ

森町議会では、第2回議会報告会を行います。

26年度決算状況 第1回の質問に対する報告 議会の取組などを報告します。皆さんの参加をお待ちしています。

日時 平成27年12月2日(水) 午後7時～午後9時  
場所 森町文化会館小ホール

\*申込みは必要ありませんので、お気軽にご参加ください。

# みんなのこえ



森町ボランティア連絡会は、17グループ270余名からなる団体です。

主に社会福祉につながる活動を、それぞれが行っています。

会の歴史は古く、昭和59年に森町社会福祉協議会が「ボランティアスクール」を開講し、町内50名を中心としたグループがボランティア活動をスタートさせました。

翌60年に連絡会を結成

し、現在では大きなグル

ープとなり、地道な活動

を続けています。

年度初めに全体会

6月には会員同士の親睦を

兼ねた研修旅行、秋には

「ふれあいバザー」に参

加し、活動資金の一部に

します。

また、「森町ライオンズクラブ」様からの毎年多額の助成金を賜り、誠に感謝の極みです。

今後も会員一同、健康で楽しくボランティア活動を続けて参ります。

会員 国田隆男

## 30周年を迎えて

### 森町ボランティア連絡会



## 議会を聴きにきませんか

前回の議会では、のべ57人が議会へ足を運んでくださいました。めんどうな手続きは必要ありません。是非、お越しください。

●定員数28名

●お問い合わせ先…議会事務局

電話 0538-85-6329

### <12月定例会の予定>

12月 4日 (金) 本会議 初 日

12月10日 (木) 本会議 2日目

12月11日 (金) 常任委員会

12月21日 (月) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。

※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

議会だより 集計表	
議長	榎原淑友
副議長	山本俊康
議員	中根幸男
議員	吉筋恵治
議員	小澤哲夫
議員	伊藤和子

## あの一般質問 どうなっただいやあ~

### 【平成27年3月定例会】

Q 城下町営住宅を撤去する考えは。

A 今年10月に、5棟のうち2棟を撤去しました。



今年発表の「移住傾向」は、男女ともに森町が1位でした。  
素晴らしい結果との過程に敬意を表し、「」の名前を誇つていています。  
また、口蹄疫の中でも健康に配慮した取組がいかに大事であるか教えられました。  
今では「お達者度第一位」並の代名詞となり、田舎にして田舎の一つにならってあります。  
今後も上位を維持できるようじ、住みやすい環境づくりと、安心・安全を守る福祉と医療の充実を考へ、「住みた」「住んでいてよかったです」と思えるような「幸福度の高い町」を目指していくことに取り組んでいます。